



- ① ささえ愛高野口
廣岡リーダー
- ② 君来たひろば
浦リーダー
- ③ 絆♡学文路
西リーダー

地域づくりの轍



第2層協議体活動報告会

全国的に高齢化が進んでいますが、このことは橋本市でも同様です。そんな中、これからも自分たちが住む地域で、安心して暮らし続けるためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような地域を創っていくとが必要です。そのために、日ごろから声をかけあったり、気にかけてあったりするような地域づくり「つながりのある地域」が大切です。

そのため、地域づくりの基盤となる「協議体」を市内各地区に設置し、住民のみなさんが主体となって話し合いが進められています。現在、10地区に第2層協議体が設置されています。協議体の進捗状況や地域の取組みなどを紙面にてご紹介します。



たすけ愛橋本（第1層協議体）の委員のみなさん

去る9月11日(日)保健福祉センターにおいて、たすけ愛橋本（第1層協議体）主催による、第2層協議体活動報告会を開催し、関係者が一堂に会しました。

今回は、3つの協議体から、具体的な活動等について発表していただきました。

このような事例を当時者から直接聞くことで、より身近に感じることができると感じています。

当日は、橋本市長におこしいただし、また、和歌山大学経済学部教授の金川めぐみ氏の進行によりスムーズに運営することができました。

● ささえ愛高野口

高齢者のふだんの暮らしの中のちょっとした困りごと（ゴミ出し、草引き等）を地域住民でお手伝いする仕組みを考え、活動されています。

お手伝いを希望する人もお手伝いする人も登録性。有償活動で現金のやり取りではなくチケット制になっています。

継続して利用してくれる方もでき、あらたなつながりができ、大変、喜んでくれています。

一方で、お手伝いする人のほとんどが仕事をされており、昼間の依頼を受けることが難しく課題となっています。リーダーの廣岡さんは、活動がより活性化するためには、お手伝いしてくれる人の増員が必要と話してくれました。

● 君来たひろば

高齢者の孤独死・孤立死について何かできないかというこ

何度かの話し合いや先進地

の方々との情報交換等を経て、一人暮らし高齢者の方で希望する方に定期的に生活支援コーディネーターが電話訪問する活動を始めています。

できるだけ、高齢者と地域の方との関わりの切れ目を少ないようにすることで日頃の暮らしづりを把握したり、状況に変化があれば行政へつないだりすることができそうです。

現在、5名のコーディネーターが頑張っています。

● 絆♥学文路

買い物に困っている高齢者への支援として、民間企業と連携して移動スーパールの活動をされています。

移動スーパーは買い物支援ということだけでなく、地域の方々がお互いの顔を見ながら話し合えるという交流の場という側面があります。

当初は、地区内3か所でした

が、1か所増えたり、駐車場の無償協力がありました。取り組みを継続していくことで、買い物支援の輪がひろがっていくことになると思います。

発表された協議体の何れも共通した言葉は「とにかくやってみる」ということでした。当事者のみなさんにとっては、とても勇気がいることだったと思います。まさに知覚動考。「ともかくうごかう」。

参加者からの声

- ◎今年の、5月に協議体を発足したばかりで、方向性について不安など色々あったが、活動報告を聞いて、少し明るい未来が来るように感じました。
- ◎各協議体の活動状況を知ることができました。各地域性もあり参考になる意見も聞くことができました。ひとつひとつのつながりを大事に安心して楽しい街づくりを目指し、急がず無理なく皆をまきこみ、長続きできることが大事だと思いました。
- ◎いろいろな活動への過程を知ることができました。コーディネーターが一つ目標に向かって、いろいろ下調べをして意見を言ったり行動したりして一つずつ積みあげていかれた。